

格差問題の最終的解決

教育格差から見る現代資本主義社会の問題点とは？

市川雅之（灘高等学校）

1. 題目

格差問題の最終的解決

2. 社会的意義

資本主義の問題点たる格差社会の問題に関し教育の観点から考察を加えることで、格差社会の本質的問題と、その解決策を明らかにする。

3. 目的

格差問題の根本的要因を成す教育格差について、その原因と連鎖の構図から是正に必要な法整備、環境づくり、民間による支援などの対策を考える。

4. 方法

先行研究や統計などを参考にし、また特に自分が今まで受けてきた教育(学校や塾など)をかえりみてその利点と欠点を中心に考える。

5. 結果

現行の高度教育を放棄したともいえる教育行政と塾業界の競争激化に代表される新自由主義的な教育市場の自由競争容認、また地域間の教育格差として地方衰退による問題点が露呈しており、この問題を解決することによって教育格差の解決が見込める。

6. 今後の課題

当分は自分も地元で教育支援を行う民間団体に参加し、自分でできることから少しでも解決に寄与していきたい。また政府においても公立高校はもちろん私立高校の実質無償化をおこなったり、民間でも奨学金制度の拡充がされたりなど社会全体で教育格差の解決に向けて様々な動きがある。しかし未だに塾教育への規制という反資本主義的な政策は打ち出されておらず、また打ち出しづらいものでもある。このような主張が世間に受け入れられるようになるまでは、根本的解決は難しいだろう。